

2022年9月1日

相鉄本線 横浜駅での乗降も可能とする新サービス名称 「YOKOHAMA どっちも定期」に決定！ 2023年3月（予定）の開業日に合わせて発売

相模鉄道株式会社

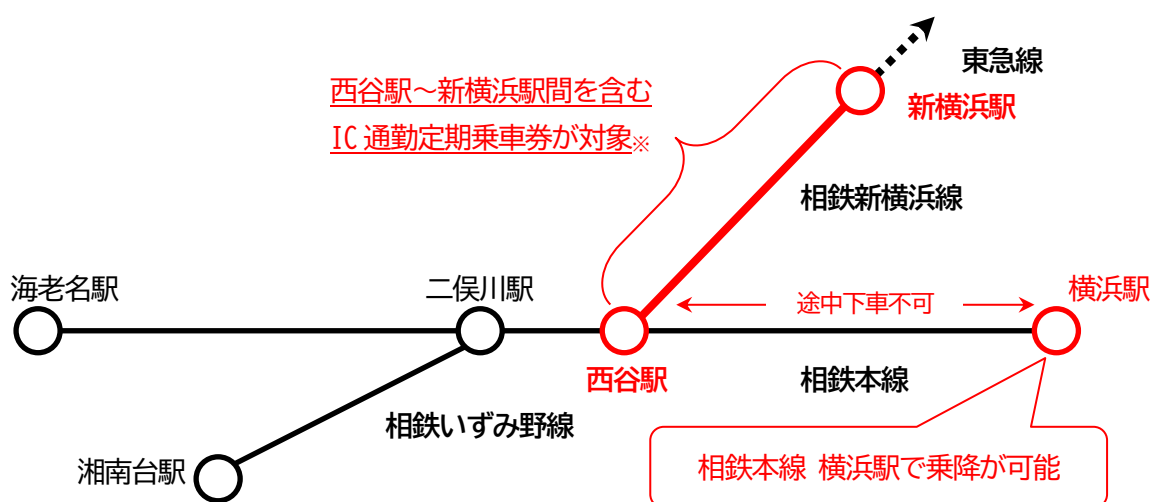
相鉄グループの相模鉄道株（本社・横浜市西区、社長・千原 広司）では、2023年3月（予定）の相鉄・東急直通線（相鉄新横浜線*1 羽沢横浜国大駅～新横浜駅、営業キロ4.2km）開業に合わせて導入する、IC通勤定期乗車券の新サービス名称を「YOKOHAMA どっちも定期」に決定しました。また、相鉄・東急直通線（羽沢横浜国大駅～新横浜駅）を含む定期乗車券を、開業日から発売します。

*1 相鉄新横浜線は、西谷駅～新横浜駅間の6.3kmを指しますが、西谷駅～羽沢横浜国大駅間の2.1kmは、2019年11月の相鉄・JR直通線開業時に営業運転を開始しています。

1. 「YOKOHAMA どっちも定期」の概要

「相鉄新横浜線 西谷駅～新横浜駅」を含むIC通勤定期乗車券をお持ちのお客さまは、追加運賃をいただくことなく、相鉄本線 横浜駅での乗降が可能となる新サービスです。

【新サービスのイメージ】



※他社路線の横浜駅はご利用いただけません。

※IC通学定期乗車券および磁気定期乗車券は、新サービスの対象外です。

例えば、平日は相鉄新横浜線経由でラクラク通勤、休日は横浜駅周辺でお買い物、といったご利用が可能となります。

2. 実施予定日

2023年3月（予定）

※相鉄・東急直通線（羽沢横浜国大駅～新横浜駅）を含む定期乗車券は、同線の開業日から発売します。

3. ご利用時の注意点

- ・相鉄本線 横浜駅で乗降される際は、自動改札機へのタッチでご利用いただけます。
- ・IC 通勤定期乗車券の有効区間に「西谷駅～新横浜駅」が含まれていれば、購入時における特別な申請をすることなく、新サービスをご利用いただけます。
- ・定期券の発駅もしくは着駅が西谷以東（上星川駅～平沼橋駅間）の場合でも、有効区間に「西谷駅～新横浜駅」が含まれていれば、新サービスが適用されます。
- ・西谷駅～横浜駅間の途中駅で乗降される場合には、所定の運賃が必要となります。
- ・当社発行ではない連絡定期乗車券においても、条件を満たせば新サービスが適用されます。
- ・PASMO 定期券以外でも、条件を満たす IC 通勤定期乗車券であれば、新サービスが適用されます。
- ・新サービスのご利用区間（西谷駅～横浜駅間）については、振替輸送対象外となります。

4. お問い合わせ

相鉄お客様センター 電話045-319-2111

平日 9：00～19：00、土休日 9：00～17：00



相鉄・東急直通線用新型車両「21000系」
（東急線内は、目黒線直通用）